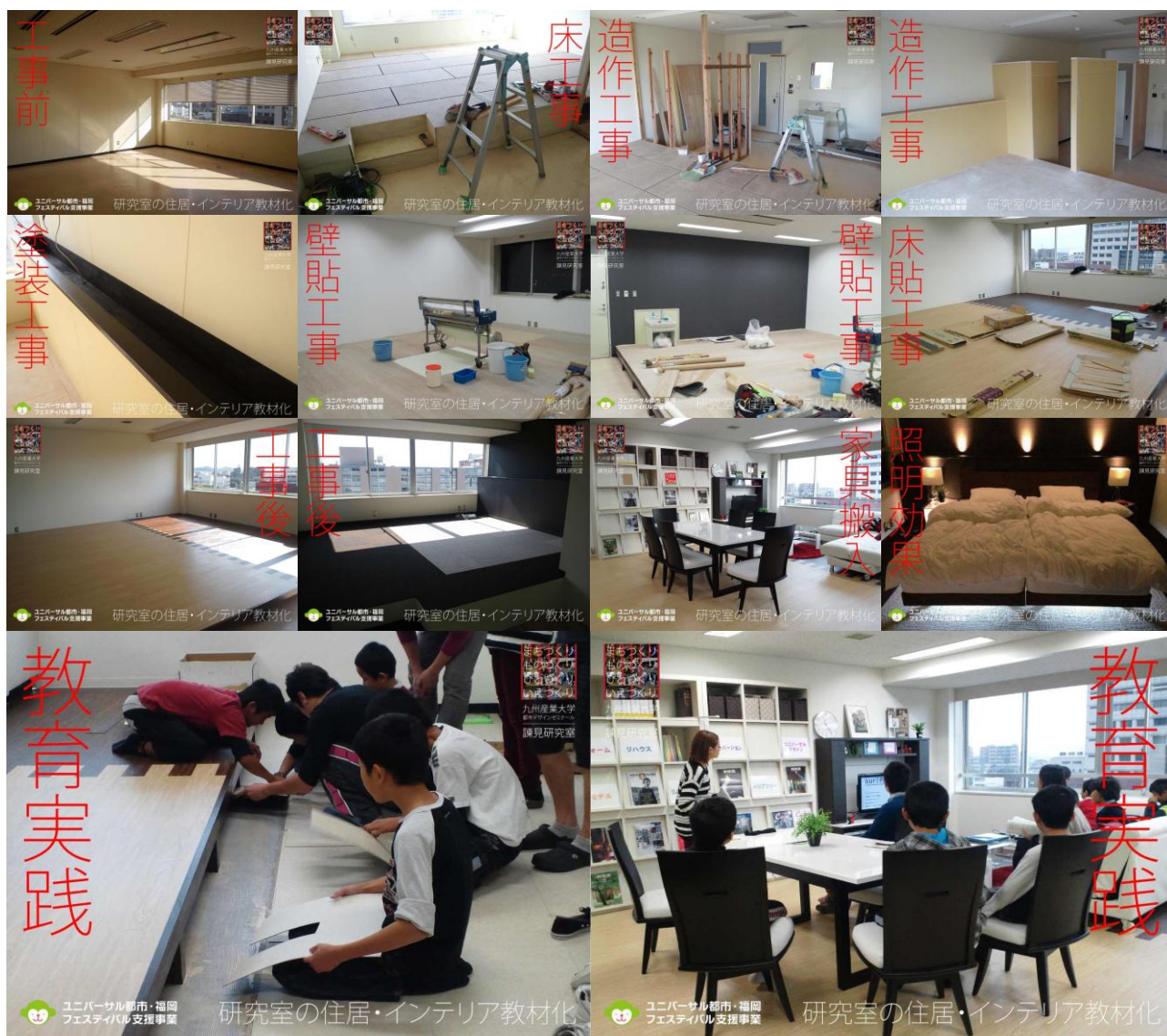


【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDF ファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	九州産業大学	個人・グループ名	諫見研究室	作品名	研究室の住居・インテリア教材化
-----	--------	----------	-------	-----	-----------------

九州産業大学工学部住居・インテリア設計学科は、建築の知識や技術を持つインテリアデザイナー、住宅からまちづくりまでを担う建築家、住宅リフォームのエンジニア、**建築・インテリア系学科の高校教員の育成**をめざしています。「住居・インテリアをどのように教育するか？」色彩の組み合わせやその調和、家具や床材・壁紙の材質感、寸法感覚や視覚的变化そして心理的影響などは、教科書などの文献を見るよりも**実際の住空間に体を置いた実体験**からよりよい学習効果を生み出せると私たちは考えます。そこで私たちは、所属する諫見研究室の**学生室をLDK（リビング ダイニング キッチン）仕様に、教員室を夫婦寝室仕様にリフォーム**（＝復旧。正しくはリノベーション＝復興、またはコンバージョン＝転換）しました。この**教材開発・教育実践研究活動「研究室の住居・インテリア教材化」**は、**私たち自身の設計と工事**（科目「卒業設計」＋科目「インターンシップ」）により、大学生のみならず、オープンキャンパスやスクーリング、見学などで大学を訪れる小中高校生の**住居・インテリア教育に資するモデルルーム**を大学内に製作したものです。現在私たちは、この**モデルルームを活用して「インテリアコーディネート塾」を開講**しています。小学生を対象とした回では、高低差のある床面に立って窓から見える景色の差異や適切な天井との距離感を学ぶとともに、床材の色彩や材質感、貼り方による空間の雰囲気づくりでは、実際に小学生が床貼工事を行いました。図面や写真、模型では分からない**視覚的・触覚的なインテリアコーディネート**を学べたと考えます。



この研究活動の教材開発は株式会社サンコーライフサポートの技術指導を、教育実践はユニバーサル都市・福岡支援事業（福岡市総務企画局）の資金助成を得て取り組みました。この紙上をお借りして深く感謝を申し上げます。（研究活動紹介 URL <http://isami.flips.jp/>）